



巻頭の辞

九州補給処長兼ねて目達原駐屯地司令

陸将補 竹内 綱太郎

めたばる

発行
自衛隊目達原駐屯地
〒842-0032佐賀県神埼郡
吉野ヶ里町立野7-1
TEL.0952-52-2161



ツイッター



@JGSDF_METABARU
#目達原駐屯地

10月現在
7,300
フォロー中!

「フォロー」
「いいね」
お願いします。

「駐屯地ツイッター発信中」
目達原駐屯地隊員の訓練
行事・災害派遣情報など、
満載!是非ご覧下さい。

ホームページ



訓練を視察する竹内司令

すっかり秋付き、紅葉達は木の葉の色づきを赤から黄色に変化させ、紅葉が一番美しいとされる錦秋の候を迎えております。

駐屯地には、9月より今年度自衛官として採用された新隊員42名がそれぞれの専門教育を修了し、各部隊に配置されました。新隊員には若さを活かし自主積極的に訓練・業務に邁進すること、受け入れる既存隊員いわゆる先輩隊員には、単に知識や技術を教えるだけでなく、愛情と熱意ある親身な指導を通じて信頼され目標とされる隊員となることを駐屯地司令として要望しています。

北部九州では、例年続いている豪雨災害が今年も発生し、佐賀県においても甚大な被害をもたらしました。また、新型コロナウイルスの猛威は未だ終息が見えません。この様な状況の中、多数の隊員が所在している駐屯地として、徹底的且つ組織的な感染症対策と健康管理を行い、いついかなる任務も即応し遂行できる態勢を保持しています。

駐屯地は引き続き、佐賀県唯一の陸上自衛隊として地域と連携し、信頼される駐屯地を目指し、隊員一丸となり取り組んで参ります。

目達原駐屯地 訓練最盛期



リペリング訓練(第4飛行隊)



警備訓練 (九州補給処)



大規模広域訓練2021(第1戦闘ヘリコプター隊)

スポット
ライト

新隊 続々各隊に 着隊員

※駐屯地(鳥栖分屯地を含む)は令和3年度入隊者42名が9月にそれぞれ
の部隊に着隊しました。彼らは、部隊に育まれながら一人前になるように
日々訓練に励みます。がんばれ!新隊員!駐屯地一同応援しています!



車両整備(西部方面後方支援隊第106全般支援大隊)



燃料タンク車へ軽油の充填(右)(九州補給処鳥栖燃料支処)



AH-64D牽引搬出準備(第1戦闘ヘリコプター隊第1飛行隊)



部外業者との調整(九州補給処調達会計部)

九州補給処

方面前進兵站基地訓練 兵站の実効性向上

九州補給処は、西部方面後方支援隊第105補給大隊とともに、8月30日から9月10日にかけて方面前進兵站基地（FMA）訓練を実施しました。本訓練は、兵站業務の実効性の向上を目的として、机上訓練及び実動を伴う機能別訓練（警備・通信・システム・炊事・補給業務）を行いました。



20ftコンテナへのドラム缶積載訓練



会議において指導をするFMA派遣隊長(九州補給処副処長)



炊事訓練においてビーフカレーを調理中



不審者対応訓練

西部方面後方支援隊

「令和3年度第1次隊訓練及び第104不発弾処理隊訓練検閲」

令和3年6月30日から7月3日までの間、大矢野原演習場において、令和3年度第1次隊訓練及び第104不発弾処理隊に対する訓練検閲を実施しました。本訓練における統制官要望事項として「組織的な部隊運用に資する指揮幕僚活動の実践」「完全な築城と偽装の追求」及び「安全管理の万全」の3点が示され、各隊は、警戒態勢の確立と並行的に支援業務を継続し、厳しくも任務達成のため奮闘努力して訓練目標を達成しました。また、受閲する第104不発弾処理隊長は、「笑顔で戻り、次の任務に備える」を要望事項に掲げ、困難な状況下においても、絶えず緊急処理要請に対応し得る態勢を保持しつつ、訓練検閲における任務を完遂し、じ後の隊務運営の資としました。



直轄警戒隊



不発弾の識別・発掘作業

第106全般支援大隊 「新隊員後期教育修了式」

第106全般支援大隊は、令和3年7月2日から同年9月8日までの間、令和3年度新隊員特技課程及び第17期一般陸曹候補生課程（装輪車整備）教育を担任・実施しました。新隊員41名は、約10週間の教育の中で装輪車整備手として必要な知識・技能を修得するとともに、当該整備手として必要な資質を涵養することができました。この間、新隊員達は、コロナ禍における各種制約を克服し、整備教育、野外訓練、各種検定等に熱心に取り組む全員が全科目を無事修了し、本教育間に築きあげた同期の絆を胸に、それぞれの部隊に巣立って行きました。



修了式（目達原）



歩哨訓練（高良台）

「令和3年度 即応予備自衛官招集訓練研修」

西部方面後方支援隊は、令和3年7月10日に大分県屯地、25日に目達原駐屯地において、退職予定隊員及び各級指揮官等を対象とした令和3年度即応予備自衛官（即自）招集訓練研修を実施しました。当研修では、西部方面後方支援隊の編成、制度の概要や処遇、応募資格等の説明を行いました。本研修に併せ第105補給大隊、第101弾薬大隊及び第103弾薬大隊の即応予備自衛官を招集し、訓練の見学や装備品等の説明を実施するとともに、陸士隊員と即自隊員との懇談を通して、即応予備自衛官としての企業との関わりなど生の声を聞き、その実情や魅力を伝えることが出来ました。今後も研修等を継続的に実施し、即応予備自衛官の確保に努めていきます。



装備品説明



即自隊員と退職予定隊員の懇談



即自部隊管理者と各級指揮官等との懇談

第105補給大隊

「方面前進兵站基地（FMA）訓練」 第105補給大隊は、令和3年8月30日から9月3日までの間、目達原駐屯地において九州補給処とともに方面前進兵站基地（FMA）訓練を実施しました。本訓練では、FMAにおける大量の補給品の荷分け作業や発送業務等の確実かつ円滑な実施に向け、補給品の梱包に係わる補給管理システムでの処理要領及びコンテナへの補給品の※バンニング・デバンニングの作業等を反復演練する等、各種技術の練度向上を図りました。



コンテナの車両積載訓練



補給品のバンニング

※バンニングとは貨物等をコンテナに積み込む作業、デバンニングとは貨物等をコンテナから取り出す作業

第1戦闘ヘリコプター隊

令和3年度第1次ヘリコプター隊長訓練検閲



※隊容検査時鋭い眼光で補助官に応答する隊員

第1戦闘ヘリコプター隊は9月6日から10日までの間、大野原演習場において令和3年度第1次ヘリコプター隊長訓練検閲を実施しました。第1飛行隊に対し、現有編成装備を最大限活用した作戦部隊の戦闘に即応し得るヘリコプター火力戦闘、火力発揮に必要な兵站及び支援基盤の設定を主眼に実施し、展開地における不審車両・工作員の進入を阻止しつつ支援基盤を維持させ、ヘリ火力戦闘により敵を撃破し任務を完遂しました。



燃料・弾薬再補給点へ到着する航空機



敵車両に12.7mm重機関銃による応戦

発成 揮果

※隊容検査とは部隊及び各隊員が任務達成のための部隊の行動自己の任務の確認、装備品の点検・検査を実施するもの。

西部方面ヘリコプター隊

国際緊急援助隊訓練 国外支援助要領の認識深める



ブリーフィングによる認識の統一

西部方面ヘリコプター隊は、令和3年7月5日から同年7月7日までの間、西部方面航空隊が実施した国際緊急援助隊資器材發送準備訓練に参加しました。訓練開始に先立ち、訓練参加者間において綿密な調整を行い、發送物品の優先順（出国順）を勘案した物品の配置要領等についてブリーフィングにより、認識を統一する等、その連携・業務遂行の円滑化を図りました。国際緊急援助隊の出国前の状況を想定した訓練では、各班の要員が互いに連携して、装備品の掌握、検数、検量及び梱包を行う等、物品の掌握から發送までの一連の手順について演練し、その実効性を向上させました。本訓練において得られた教訓事項を反映し、待機態勢に万全を期しつつ、引き続き各種任務及び訓練等に邁進してまいります。



作業指示を受ける隊員



各隊から受け入れた資材の搬入

※国際緊急援助隊とは、海外の地域、特に開発途上にある地域における大規模な災害に対し、救助及び医療活動を実施する。陸上自衛隊は、国際緊急援助活動を自己完結的に行えるよう、各種任務に対応できる態勢を常時維持している。

第4飛行隊

第3次飛行訓練 対馬の空にて練度向上

第4飛行隊は、令和3年9月5日から11日までの間、対馬駐屯地及び同周辺空域において、令和3年度第3次飛行訓練を実施しました。本訓練では、対馬警備隊と協同して空中機動、リペリング降下、ホイスト装置による物料卸下及び患者後送訓練等を実施し、連携能力の向上を図るとともに、ヘリコプターによる対馬島内の自衛隊施設、場外着陸場への離着陸及び主要施設・地形等への車両機動を実施して対馬における任務対応能力向上を図りました。引き続き、九州北部4県を担任する師団飛行隊として、日々の訓練に精進してまいります。



リペリング降下訓練



患者後送訓練



空中機動のための資材積載訓練



ホイスト装置による物料卸下訓練

第321基地通信中隊

補給整備強調期間

第321基地通信中隊は、令和3年9月6日から同年9月14日の間、装備品及び通信電子器材の点検整備を行い、システム通信の維持運営及び装備品等の高可動維持並びに倉庫管理を実施し、良質安定したシステム通信基盤を確立しました。



通信器材の点検



物品の整理整頓

西部方面管制気象隊第1派遣隊

新たな管制官誕生

航空交通管制員技能試験合格

西部方面管制気象隊第1派遣隊は、令和3年8月27日、国土交通省による管制員技能試験を受験しました。本試験は航空交通管制官として国家資格を取得するための試験で、約9カ月間（令和2年11月17日から令和3年8月27日）の実務研修を



緊張した面持ちで試験を受ける久古2尉



免許取得後、管制官として勤務する久古2尉

終え、9月2日付で無事合格した久古2尉は「今後も更なる練度向上を目指し航空安全及び訓練効率の向上に寄与できるように精進します」と語る。第1派遣隊は引き続き一丸となり、航空安全に寄与できるような管制気象支援能力の向上に努めます。

西部方面システム通信群本部中隊 映像写真小隊空中伝送班

8月豪雨

被災地の情報 いち早く収集

空中伝送班は、令和3年8月豪雨の影響により被害を受けた佐賀県武雄市の被害状況について西部方面ヘリコプター隊と協同連携し、現地の映像を撮影・放映しました。引き続き迅速的確な災害対応に資する情報資料の収集に努めていきます。また、8月転入者の早期戦力化を図り、頻発・激甚化する自然災害に対応すべく、即応態勢の確立に努め、任務遂行に邁進していきます。



上空から撮影した災害現場(武雄市)の状況



映像伝送器材を搭載したUH-1J機内

家庭菜園



隊員趣味紹介 マイブーム



黒田泰司 2曹
九州補給処補給部



収穫したピーマンとなすび

※本人左奥
私の趣味は1年前から始めた、野菜作りです。サツマイモからデビューし、じゃがいも、たまねぎ、ピーマン、なす、きゅうり、トマト、スナップエンドウ、にんにくと色々な野菜を雑草や虫と戦いながら作れるようになりました。これからは野菜とともに自分自身、手間暇をかけて、いい味が出せる様頑張っていきます。



自慢のマイファーム「黒田農園」

只今、前進中。

若人奮闘記

佐藤 龍太

(さと) りゆうた

所属 西部方面後方支援隊
本部付隊 投下支援小隊

階級 2等陸曹

職種 「需品科」

役職 「需品科」

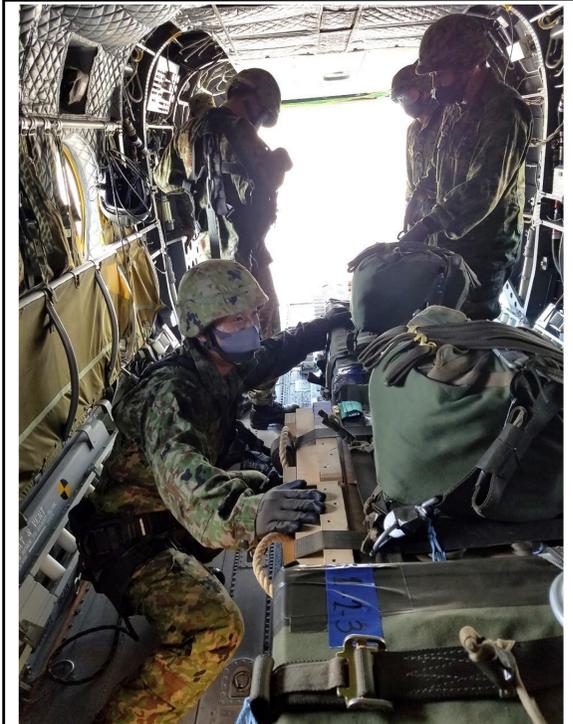
「落下傘補給陸曹」
令和3年7月1日付で2等陸曹に昇任したばかり今最も活躍が期待されている陸曹
趣味は「ソフトテニス・バトミントン・ボルダリング」という魅力の尽きない部隊の核となる陸曹
埼玉県出身



小隊の仲間たちと 佐藤2曹(右)

部隊のムードメーカー 目達原の地で活躍中

「職務について教えてください。」
「私の職務は落下傘補給陸曹です。地上部隊へ航空機から補給品を物料投下する事が主たる任務です。」
「目達原駐屯地勤務は3年目と聞きました。3年勤務した感想を教えてください。」
「関東から転属してきましたが九州は食べ物おいしい、空気が澄んで、渋滞が起きにくい、人が優しい、良いことづくめで関東勤務中は毎年一回体調を壊す時期があったのですが、目達原にきて風邪もひいてません。」
「今後の抱負を教えてください。」
「職務面は訓練検閲に向け、小隊一丸となり日々訓練に励むことと、まだ投下支援小隊を知らない人へPRをしていきたいです。目標はプライベートの目標はコロナが落ち着いたら趣味で続けているソフトテニスで地域で行われる大会等に出場したいと思っています。」



物料を投下する佐藤2曹

インタビュー

新着任部隊隊長等紹介

西部方面ヘリコプター隊長
2等陸佐 溝部 保徳
職 種 熊本 県
座 右 の 銘 航空科
雲外蒼天



九州補給処総務部長
1等陸佐 永富 直由
職 出 福岡 県
種 身 会計科



知っとんね

駐屯地周辺スポット紹介

神埼市にある脊振山を紹介いたします。脊振山(せぶりさん)は、福岡県と佐賀県の境にある標高1054m、脊振山系最高峰の山です。(佐賀県では標高2位)山頂には脊振神社や航空自衛隊脊振分屯地があります。山頂からの景色は福岡市内が一望でき絶景ビューポイントとして有名です。佐賀方面から山頂近くまで車でアクセスができてトレイルや自販機も設置されています。麓からは登山道が走っており、中級者向けのコースとしても親しまれています。是非皆さんもドライブがてら、自然豊かな「映える」景色・風景をお楽しみください。



展望台付近から見えるレーダードーム

アクセス
駐屯地から国道34号線を佐賀市方向へ、神崎市役所前(交差点)を右折して県道21号線へ、8キロほど北上し県道305号(脊振神山公園線)へ道なりに進めば脊振山展望台。トイレ完備、自販機、駐車場あり。

定年退官者及び予定者

26日	12月	25日	11月	11日
西後支	九	九	九	九
曹長	曹長	曹長	曹長	曹長
松尾文雄	重松勝秀	遠藤 聖	押川 恭久	押川 恭久